

第45回インターネット消費者取引連絡会 消費生活相談の動向について (テーマ：NFT)

(PIO-NET登録情報を基に消費者庁で作成)

2022年 6月23日
新未来創造戦略本部

NFTに関連した消費生活相談の状況（相談件数）

年度	相談件数
2017～2020年度	0 件
2021年度	4 件
2022年度	4 件

注 1：2017年度以降受付、2022年6月15日までの登録分。消費生活センター等からの経由相談は含まれていない。

注 2：PIO-NET情報は相談者の申し出情報に基づいており、事実関係が必ずしも確認されたものではない。

注 3：「件名」「相談概要」等のいずれかに文字列“NFT”等を含む検索から、消費者庁においてNFTに関連した相談を抽出。

NFTに関連した消費生活相談の状況（相談事例）

1. NFT（と称するもの）を投資目的等と称して購入させるが、返金等がされないもの

【事例 1】

NFTゲームのキャラクターのオーナーになると儲かると業者から説明を受けて約100万円を払ったが、騙されたので返金してほしい。

【事例 2】

動画サイトでNFTアートで稼ぐオンラインサロンを知り、申し込んだが何も提供されず、信用できないので解約したい。

NFTに関連した消費生活相談の状況（相談事例）

2. NFT（と称するもの）を購入するが、ウェブサイトの決済等に問題があるもの

【事例 3】

NFTプラットフォームからデジタルアートを注文。決済エラーなのにクレジットには請求済。返事なし。

【事例 4】

有名人のNFTの付いたデジタルアートを約12、3万円ほどの暗号資産で購入しようと送ったサイトが偽サイトだった。

3. その他

【事例 5】

NFTアートでイラストを販売する人に自分の作品を渡した。期日までに報酬が払われず催促のメールに返信がない。払ってほしい。